

令和4年度 自己評価（にじの色こども園）

《基本理念》

青い空、青い海のような心の深い人になります。生命の大切さを知り、いたわる気持ち、感謝の気持ちを大切に、一つひとつの事を素通りせず、誰とでも一生懸命向き合える心を持ち、人として清く正しく、ときには遊び心も持ち合わせながら喜び合い、分かち合い、人との繋がりを大事にします。私たちは、いろいろな色を受け入れる人と人をつなぐにじの橋となり、一人ひとりの夢を育む心のよりどころであり、いつでも誰かが待っている場所でありたい。

《保育理念》

社会福祉法人「虹の色福祉会」は、児童福祉法に基づき、子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの命の大切さを教えながら仲間同士の連携を保ち、子ども達が常に笑顔でいられる雰囲気作りを意識して保育を行う。さらに地域における家族援助を行うよう心掛けています。

《保育目標》

保育指針の基本を正しくふまえ、更に健康、美と創造、思考を柱として当園ならではの特色を生かし、心豊かな人間を目標として明るく自主性のある子を育む。

☆陽の光のように … 生き活きた元気な子

☆深い海の色のように … 創造性豊かな子

☆土のたくましさ、風のやわらかさのように … よく遊べる子

☆にじのように … 情緒豊かな子

保育所保育指針において『「保育の内容等 の自己評価」として、保育教諭等は自らの保育実践を評価するよう努めること、またこれを踏まえてこども園は保育の内容等について自ら評価を行い、その結果の公表に努めなければならない。』ことが示されています。それを踏まえ自己評価を行いまとめました。

～以下の基準で自己評価を行って下さい。～

- A — 理想的な取り組み（できている）
- B — 取り組みを行い通常行われている状態（わりとできている）
- C — 頑張らないといけない状態

	評 価 項 目	評価
基本方針・人権尊重	① 当園の基本理念及び保育目標、基本方針を理解している。	B
	②子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
	③保育中の子ども的人格尊重を意識している。	A
保育の計画	①当園の保育目標、基本方針に基づいて、クラスの年間保育目標や指導計画を作成している。	A
	② 担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	B
	③一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④日常の保育を通して子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている。	A
	⑤指導計画の評価、検討を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	B
	⑥自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	B
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を深め、その思いをできるだけ受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。(身近な自然や社会と関われるような取り組み、様々な表現活動が体験できるような取り組み等の環境構成を意識している。)	B
	④静と動のある生活を取り入れている。	A
	⑤遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	A
	⑥気になる子への配慮された保育・教育が行われている。	A
	⑦職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている。	B
保育環境	①園舎内外、保育室の整理整頓に努め、いつも子ども達が心地良く過ごすことができる保育環境を心掛けている。	A
	②自然体験や伝統的な行事を取り入れ、心が豊かになるような取り組みをしている。	B
	③日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心をもつ工夫をしている。	B
健康管理	①登園時や保育・教育中の子どもの健康管理は、一人ひとりの発育・発達状況・健康状態に応じて実施している。	B
	②感染症等予防に配慮した保育・教育を実施している。(手洗いなど)	A
	③ 予防接種の状況を定期的に把握している。	C

	評価項目	評価
食事	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲に育つよう工夫している。	A
	② 子ども食生活を支えるために、家庭と連携している。	B
	③食物アレルギーは個別に配慮して、食事を提供している。	A
	④調理員を交えて会議等で意見を交わしながらより良い食事の提供ができるよう努めている。	B
安全・衛生・危機管理	① 事故や災害に適応できるマニュアルがあり、全職員が周知している。	B
	② 安全管理のマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。	B
	③事故防止のための具体的な取り組みを行っている。(安全点検など)	A
組織・役割分担	①職場内で連携がとれている。又は努めている。	B
	②職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」ができています。	B
	③職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	B
	④保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B
	⑤各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A
	⑥各職員が会議などで必要と思う質問や意見を発言することができています。	B
	⑦保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。(研修への参加等)	A
	⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	B
保護者支援・地域支援	①保護者に対して気持ちの良い対応を心がけている。(言葉使い、態度)	A
	②送迎時に子どもの姿を保護者に伝えるようにし、連携をとるようにしている。	A
	③保護者の育児相談や地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行うよう努めている。	B
	④保護者や地域の意見を保育等に反映できることは積極的に行っている。	A
	④ 地域の方々に保育について理解を得、協力依頼するなど、連携を行っている。	B
	⑥子ども達が戸惑うことなく、小学校の生活や環境に慣れるよう、小学校との連携を行っている。	C
	⑦中高生などの保育体験・実習生、ボランティアの受け入れを行っている。	A
	⑧虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている。	A
守秘義務の 遵守	①保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	A
	②保護者や地域の人から相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている。	A

< 総合評価 >

評価科目で B（取り組みを行い通常行われている状態（わりとできてる））の評価の箇所は職員全員で見直し意識して、A（理想的な取り組み（できている））に近づけるよう努力していきたいと思います。C（頑張らないといけない状態）の科目は少しでも B 評価に近づけるよう努力していきます。

今後、保護者への支援、地域との交流、小学校との連携に力を入れていく必要性を感じました。

次年度も子どもにとって最善の利益を保障した保育が行われるよう全職員で話し合い、保育を行っていききたいと思います。

令和4年度 自己評価（青いとり保育園・おとぎの森保育園）

《基本理念》

青い空、青い海のような心の深い人になります。生命の大切さを知り、いたわる気持ち、感謝の気持ちを大切に、一つひとつの事を素通りせず、誰とでも一生懸命向き合える心を持ち、人として清く正しく、ときには遊び心も持ち合わせながら喜び合い、分かち合い、人との繋がりを大事にします。私たちは、いろいろな色を受け入れる人と人をつなぐにじの橋となり、一人ひとりの夢を育む心のよりどころであり、いつでも誰かが待っている場所でありたい。

《保育理念》

社会福祉法人「虹の色福祉会」は、児童福祉法に基づき、子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりの命の大切さを教えながら仲間同士の連携を保ち、子ども達が常に笑顔でいられる雰囲気作りを意識して保育を行う。さらに地域における家族援助を行うよう心掛けています。

《保育目標》

保育指針の基本を正しくふまえ、更に健康、美と創造、思考を柱として当園ならではの特色を生かし、心豊かな人間を目標として明るく自主性のある子を育む。

☆陽の光のように … 生き活きた元気な子

☆深い海のように … 創造性豊かな子

☆土のたくましさ、風のやわらかさのように … よく遊べる子

☆羽ばたく鳥のように … 情緒豊かな子

保育所保育指針において『「保育の内容等」の自己評価』として、保育士等は自らの保育実践を評価するよう努めること、またこれを踏まえて保育所は保育の内容等について自ら評価を行い、その結果の公表に努めなければならない。』ことが示されています。それを踏まえ自己評価を行いまとめました。

～以下の基準で自己評価を行って下さい。～

- A — 理想的な取り組み（できている）
- B — 取り組みを行い通常行われている状態（わりとできている）
- C — 頑張らないといけない状態

	評価項目	評価
基本方針・人権尊重	① 当園の基本理念及び保育目標、基本方針を理解している。	B
	②子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A
	③保育中の子どもの人格尊重を意識している。	A
保育の計画	①当園の保育目標、基本方針に基づいて、クラスの年間保育目標や指導計画を作成している。	A
	②担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A
	③一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④日常の保育を通して子どもの思いや気持ちを汲み取りながら指導計画に反映させている。	A
	⑤指導計画の評価、検討を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	A
	⑥自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	B
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を深め、その思いをできるだけ受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。(身近な自然や社会と関われるような取り組み、様々な表現活動が体験できるような取り組み等の環境構成を意識している。)	B
	④静と動のある生活を取り入れている。	A
	⑤遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	A
	⑥気になる子への配慮された保育・教育が行われている。	A
	⑦職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている。	A
保育環境	①園舎内外、保育室の整理整頓に努め、いつも子ども達が心地良く過ごすことができる保育環境を心掛けている。	A
	②自然体験や伝統的な行事を取り入れ、心が豊かになるような取り組みをしている。	B
	③日常的な生活や環境の中で標識や文字に関心をもつ工夫をしている。	B
健康管理	①登園時や保育・教育中の子どもの健康管理は、一人ひとりの発育・発達状況・健康状態に応じて実施している。	B
	②感染症等予防に配慮した保育・教育を実施している。(手洗いなど)	A
	② 予防接種の状況を定期的に把握している。	C

	評価項目	評価
食事	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲に育つよう工夫している。	A
	②子どもの食生活を支えるために、家庭と連携している。	A
	③食物アレルギーは個別に配慮して、食事を提供している。	A
	④調理員を交えて会議等で意見を交わしながらより良い食事の提供ができるよう努めている。	B
安全・衛生・危機管理	① 事故や災害に適應できるマニュアルがあり、全職員が周知している。	B
	② 安全管理のマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。	B
	③事故防止のための具体的な取り組みを行っている。(安全点検など)	A
組織・役割分担	①職場内で連携がとれている。又は努めている。	B
	②職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」ができています。	B
	③職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	B
	④保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B
	⑤各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A
	⑥各職員が会議などで必要と思う質問や意見を発言することができています。	A
	⑦保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。(研修への参加等)	A
	⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている。	A
保護者支援・地域支援	①保護者に対して気持ちの良い対応を心がけている。(言葉使い、態度)	A
	②送迎時に子どもの姿を保護者に伝えるようにし、連携をとるようにしている。	A
	③保護者の育児相談や地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行うよう努めている。	B
	④保護者や地域の意見を保育等に反映できることは積極的に行っている。	A
	⑤地域の方々に保育について理解を得、協力依頼するなど、連携を行っている。	A
	⑥子ども達が戸惑うことなく、小学校の生活や環境に慣れるよう、小学校との連携を行っている。	C
	⑦中高生などの保育体験・実習生、ボランティアの受け入れを行っている。	A
	⑧虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている。	A
守秘義務の 遵守	①保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	A
	②保護者や地域の人から相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている。	A

< 総合評価 >

評価科目で B（取り組みを行い通常行われている状態（わりとできてる））の評価の箇所は職員全員で意識し、A（理想的な取り組み（できている））に近づけるよう努力していく必要性を感じました。その中でも今ある環境で出来る事を探し子どもにとってより良い生活が送れるよう努力します。

C（頑張らないといけない状態）の科目は少しでも B 評価に近づけるよう努力していく必要性を感じました。

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
						A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・理念、方針については、日々再確認の機会を作っている。特に「5つの心」については、毎朝唱和し終礼で気付きを発表している。そのことから、職員の意識の高まりは勿論、子どもへの浸透も感じられる。 ・保護者には、ホームページや園だよりの他、各クラスだよりで具体的な内容も知らせている。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子ども的人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育・保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をふまえ、0歳児から小学校就学前までの園児の成長を見据え、一貫した教育・保育をおこなっている。 ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」についても研修をしながら共通理解を図るよう努力している。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発達の状態を把握し、職員間で共有されているか		○			・日々、朝礼・終礼の時間を有効に使い、どの職員も子どもの姿や気づきを話す機会を設け、共通理解につなげている。看護師が子ども一人一人の発達をグラフ化してクラスにお返し、実態の把握に努めている。 ・食事においては、毎月給食会議を実施し園長・主幹・各担任・調理員・栄養士と話し合い、必要があれば改善し共通理解を図っている。 ・野菜の栽培や収穫体験、クッキング等、食事を楽しくむきつけ作りをし、食育計画に基づいて取り組んでいる。 ・子ども一人一人に目を向け、子どもの気持ちを尊重している。一人一人の理解度に合わせた細やかな関りが、より必要であると感じる。 ・健康安全については知識共有や積極的に意見を述べ環境を整えていく必要がある。 ・コロナ禍の中で十分な環境作りが難しいこともあるが、今ならではの保育の展開や経験を大切にしている。 ・子どもの自己肯定感を高めることを大切に思い、保育者との信頼関係を基に、主体的に環境に関われるよう努力している。 ・市の巡回指導などを通して、助言や指導を受けている。 ・小学校との連携や交流を行ったが、小学校との計画を見直し、今後もできるだけ連携に努めたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか			○		
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか	○				
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか			○		

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		・今年度は、面談の回数が少ない中で玄関掲示、配信アプリでの発信に努めていたが直接話せる機会を増やしていきたい。 ・園児においては、身体測定や着替え等や普段の活動などを通して、虐待が疑われる状況がないか意識して観察している。 ・地域の子育て世帯に対して園庭開放や交流の場の提供ができていなかったため今後は子育て支援に努めていきたい。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか				○	
教育・保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、対応を図っているか		○			・感染症での対応として、養護教諭を中心に務めてきた。 ・感染予防のための消毒の徹底や保健指導など共通理解し、対応している。 ・アレルギー児には、保護者、担任、が聞き取りを行い、医師の指示に従って対応している。 ・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って行っている。職員全体にマニュアルが徹底されるように努めていく。 ・園内研修で、感染症や怪我への対応について学び、全職員が対応できるようにした。 ・研修においては、コロナ禍の中でリモートでの研修が増え、園内での研修を充実させるなど職員の学びに繋げるよう努めた。 ・保育教諭にも個人差があり、主体的に自分を見直し、改善するという保育の振り返りに力を入れていきたい。 ・守秘義務や個人情報の保護に関しては、日々その都度全職員と共通理解をし、遵守に努めている。 ・園児や保護者の権利を守り、安心して預けていただくためにも、保護者の意見や苦情に対応する体制を整え、円滑円満に解決できるよう努めている。子ども一人ひとりに応じた支援を多様なに行えるよう職員の資質向上に努めていく。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			